



## 01 | 明けましておめでとうございます ちょっと発行が遅れました！

議会終わりに広報誌を発行して年4回発行予定でしたが、うかうかしてたら3回目の議会が終わってしまいました！しかも、年を越してしまいました！本広報誌は、9月の議会のものになりますのでご了承ください。12月の議会のものは、また発行いたしますので、もう少々お待ちください。



## 02 | 本多紀元の政治活動の記録を お届けする「みろそ誌」

「議員は何をしているか分からない」という声をよく耳にします。私も実際に議員になるまで分からないことも多くありました。普段はSNS等で活動を発信させていただいていますが、それだけだと情報発信が不十分で、未来創造支援団の皆様や地域の方々に、私の政治活動の記録をお届けしたいと思い、作成しております。議会があった月の翌月末ぐらいに、年4回発行を目標として定期的に発信させていただく予定ですが、ちょっと遅れ気味です。すみません。真面目な情報誌だと誰にも読んでいただけないと思うので、少しでもユーモアも交えながら発信させていただきます。タイトルの「みろそ誌」は、「みらいそうぞうしえんだん」から文字を抜き取りました。なお、本誌の印刷から発信まですべて自腹です。

## PROFILE

### 本多紀元 きげん (35)

1989年(平成元年)9月19日生まれ

#### 経歴

2008年 篠山産業高校(機械科) 卒  
2011年 大阪工業大学(情報科学部) 卒  
2015年 株式会社いなかの窓 設立  
2024年 丹波篠山市議会議員

#### 所属

丹波篠山青年会議所(JC)  
丹波篠山市商工会青年部  
MENZA会員

地元の丹波篠山市に2015年にUターンで戻り、地域の魅力をIT(情報技術)の力で発信するために「株式会社いなかの窓」を起業。その後、様々な地域活動を行いながら丹波篠山市の発展に貢献する。

#### 得意分野

- IT関連サービスの利用と開発
- ホームページ制作をはじめ、IT関連サービスを開発。ITの知識を活用し、AIの活用やDX推進を行っています。高齢者向けのスマホ講座も開催中。

#### 教育活動

地元の小中高校等で講義を行ったり、PR活動を行っています。過去にはe-sportsを通じた交流や、アイデアソンなども実施。子どもたちと一番年齢に近い最年少議員として、若者の声を拾い上げ、市政に届けます。



## 03 | 足立義則先輩、お疲れ様でした！

2024年7月27日

24年間、議員として務められた足立義則先輩のおつかれさま会が開催され、多くの方々が労いのためにご参加されておりました。私もお呼びいただけて大変光栄でした。まだ1年にも満たない私の議員活動ですが、24年という歳月は私にとって想像しがたいものです。足立先輩のように、ユーモアに溢れ、たくさんの方から信頼される議員を目指してがんばります！



## 04 | 伊賀市と野洲市へ研修視察に

2024年7月30日-31日

議会広報特別委員会で、議員になって初めて、遠征の研修視察に行かせていただきました。より市民のみなさまに読んでもらえる議会広報誌の作成を目指し、先進的な議会広報誌を作成されている伊賀市と野洲市へ。今はネットの普及によって縦書き&右綴じから、横書き&左綴じに変えている自治体も多いようです。丹波篠山市の広報誌は横書きが多いですが、右綴じなので、もし議会だよりも左綴じにする場合は、市の広報誌も左綴じにしないといけません。



## 05 | 篠山小学校で夏休み放課後子ども教室が開催

2024年8月8日

地域の人たちが子どもたちと行う交流活動で、昔の遊びをたくさん用意して子どもたちに遊び方を教えてあげます。あやとりやお手玉、けん玉やヨーヨーなど、昔の遊びで大人も子どもも盛り上がりましたあやとりは、私が小さい頃に流行っていたやつ(名称不明、最後に馬の尻尾からマジックにつなげるやつ)を今の子どもたちも知っていてびっくりしました。私はうろ覚えだったのですが、子どもに教えてもらいました。



## 06 | 商工会青年部でデカンショ祭

2024年8月15日-8月16日

商工会青年部でデカンショ祭の準備と運営に携わりました。去年末に入会したばかりなので、今回が初めての参加。当日だけではなく準備から片づけまで、炎天下の中、みんなで力を合わせてがんばりました。祭に参加したたくさんの方たちが笑顔で楽しんでいる様子を見ると、やってよかったなとしみじみ。少子高齢化で青年部も少しずつ人が減ってきていますが、こういった取り組みが未来にわたって続けられるよう、活動をがんばっていきたいと思います。



## 07 | 篠山地区敬老会

2024年9月16日

来賓として及びいただいた篠山地区の敬老会に出席させていただきました。篠山地区の大先輩方がたくさん参加され、会場は満員状態。若者向けのイベントとかだとまずありえないレベルの盛況ぶり。少子高齢化といえども、高齢者がこれだけ元気だと若者も勇気と元気をもらえます。いつまでも元気でご活躍していただきたいですね。



## 08 | 丹波篠山市の移住者に迫る！

2024年10月27日

丹波篠山青年会議所では10月例会として丹波篠山市の移住者複数名のご自宅やお店を訪問し、「なぜ、丹波篠山市に移住しようと思ったのか？」について詳しくお話を伺いました。みなさんきっかけは様々ですが、話を聞いているうちに、「丹波篠山市って、ええとこやなあ」としみじみ感じました。移住者だからこそ分かる魅力を、地元の人に伝えることって大事ですね。



# 議員の仕事

議員って普段なにしているの？忙しいのか暇なのかかわかん！ということをよく伺いするので、議員の仕事についてお伝えできればと思います。議員さんによって全然活動内容も変わるので、あくまで私のケースということでご認識ください！

## 01 | 議会(定例会)の日数

議会は年4回開催され、1回あたり4日程度の会議が行われます。そうすると、単純計算で16日間しか活動をしないのか？という話になります。しかし、議会の議決に関しては議会だけで決めるのではなく、各委員会で予め話し合いをして決めていくことがほとんどです。また、2~3日目に行われる「一般質問」は各議員が独自で調査研究をした上で行われますから、その準備にも日数を要します。議会、委員会、一般質問の書類作成などを含めると、私の場合、議会1回あたり大体10~15日ぐらいい動いているイメージです。なので、年間4回×15日とすると、60日ぐらいい動いています。

60日

## 02 | 議会の事業と視察研修の日数

議会では独自に事業を行っていて、例えば、市民に対して行う「議会報告会」「市民相談コーナー」「議員と語る会」などがあります。また、各委員会で「行政事務事業評価」をしています。企画段階から実施、事後の報告なども日数に含めると、年間で15~20日ぐらいい動いています。さらに、各委員会や会派での視察研修があり、所属数にもよりますが、こちらも年間で15~20日ぐらいい動いています。

40日

## 03 | 地域の活動や独自の調査研究の日数

上記の日数についてはだいたいどの議員さんも一緒ぐらいの日数になるのかなと思いますが、それ以上に多くの時間を費やして、かつ、議員さんによってバラバラなのが、地域での活動や独自の調査研究ではないかと思っています。まず、市が開催するイベントや、関係する地域や知り合いからのイベントの招待があり、これが大体1ヶ月に2~3回程度ありますので、年間で36日ぐらいい動いています。あとは、個人的に視察や調査研究を行ったり、市民の方からの相談がありますが、これが大体月3~4回程度なので、年間48日ぐらいい動いています。合わせると、84日ぐらいい動いています。

84日

## 04 | 議員の仕事は多い？少ない？

上記3つを合わせると184日ということで、大体年間の半分ぐらいい動いた日数になりましたが、これを見てもみなさんはどう感じられたでしょうか？この日数はあくまで議員としての活動であって、実際の多くの議員さんは議員以外にも自治会や地域団体の役員、兼業などもされているのでもっと多くの時間を費やされていると思います。とはいえ、議員の本分は市民のみなさんの声を聴くことですので、どのように思われたかに関わらず、遠慮せずに積極的に声がけをいただきたいと思っています。

## Q & A 議員の活動についてお答えします！

### Q 丹波篠山市は課題だらけなんだからもっと議会でいろいろ言ってほしい

A 気持ちはめっちゃ分かります！ただ、実情を聴くと市は取り組んでいるけど上手くいってなかったり、予算的に厳しいこともあります。また、議員1人の声で何か変わるわけでもありません。そういう背景を理解したうえで、「こうやったら上手くいく」という企画レベルまで持って行って、みんなで声をあげて提案していきましょう！

### Q 市政のことを知りたいんだけど詳しいの？

A 全部頭に入っているわけではないのですが、市の情報がいっぱい入ったタブレットを持っているので、聞いてもらったらすぐ調べられます！それと、市の広報といっしょに配布される「議会だより」では直近の議会の情報が見られるのでぜひご覧ください。

# 本多紀元の一一般質問

？ **一般質問**とは、議会のときに議員が市に対して行える、比較的自由的な発言の場です。比較的自由的なので、「質問」といっても、議員が実現したい政策などについての提案を同時に行うことができます。行うことができる、というか、一般質問の場ぐらいい言える場がないので、議員にとって「最もはなやかで意義のある場」とされています。ここでは、今回私が6月の水無月会議で行った一般質問の内容をお伝えします。

## 学校教育におけるEdTechの導入について

9月に行われた議会において、「学校教育におけるEdTechの導入について」の質問を行いました。質問の内容の詳細は動画が公開されていますので、右のQRコードからご覧ください。

議会の様子が  
チェックできます！



## 01 | EdTechってなに？

EdTechは教育(Education)と技術(Technology)を組み合わせた造語で、テクノロジーを用いて教育を支援する仕組みやサービスを指します。今の学校教育は国のGIGAスクール構想によって、1人1台のPCが配布され、デジタル技術を使うことで、これからますます教育の質を向上させていくことが期待できます。そういった事情によって、国内外問わずに様々な会社が学校教育向けのITサービスを開発、提供していて、それが「EdTech」と呼ばれます。今回の一般質問の意図としては、要はそういうサービスを導入して、丹波篠山市の教育の質をあげていこう、ということです。サービスの導入には当然お金がかかるのですが、国の補助金を活用することで1年間は無料で利用できます。

## 02 | デジタル技術を教育に活用することのメリット

近年ではAIツールなどによって、人がやるより高精度で高速な作業が可能になりました。たとえば、子どもたちに課題を出し、その結果を分析することで、子どもたち一人ひとりに最適な学習手段を提供することができます。今の教育現場は先生に対して沢山の生徒が授業を受ける、という1対多の教育が多いですが、EdTechでは1対1の教育を実現することができます。また、テストを自動で作ったり、テストを自動採点したりと、先生の作業時間も削減され、昔から課題となっている先生の勤務時間超過も解消できます。ただ、それだけで子どもたちの成績が上がったりするわけではないという研究結果も出ているので、過信は禁物です。(学習意欲の少ない子どもたちがEdTechの活用によって学習意欲が上がった、という研究結果は出ています) 習うより慣れるという言葉もあるように、教育現場でEdTechを活用することで、未来の教育の波を乗りこなすことができます。

## 03 | 丹波篠山市の現状

今回の一般質問を通して、市からの現状も報告していただきました。現在はデジタル教科書と連動した「タブドリLive!」というEdTechを導入しているほか、ロボットプログラミングを行う「マイクロビット」を導入しているということでした。また、一般質問後に教育長から「スタディアサプリ」を導入予定であるとの報告もいただきました。丹波篠山市ではGIGAスクール構想当初より早期の1人1台端末の導入がされており、活用についても早期に取り組みされていることから、今後のさらなるITを活用した教育の質の向上が期待できます。引き続き、みなさんから実際の教育現場の声を聴かせていただきながら、さらなる教育の質向上に向けて調査研究を進めていきたいと思っていますので、情報提供をお待ちしております。

## 丹波篠山市では、教育におけるIT活用が進んでいます

今後もさらに活用していきながら、子どもたちの未来のためにも、先生のためにも、「丹波篠山で子育てしたい」という人のためにも頑張りたいですね。

## 誰でもOK! 団員募集中

本多紀元と未来創造支援団は、本多紀元とともに丹波篠山市の未来を創造してくれる仲間を募集しています。

登録フォーム

LINE公式アカウント



制作:本多紀元と未来創造支援団

〒669-2344 兵庫県丹波篠山市西新町179  
リトル丹波ビル西棟103号

☎079-558-7454 ✉info@hondakigen.com

📍https://hondakigen.com/